

平成14年度 第2回保健衛生審議会議事録

1. 日 時 平成14年8月2日(金) 午後1時30分～午後3時

2. 場 所 市役所14D会議室

3. 出席者

【委員】

今井(恭)委員、中山委員、小島委員、柳川委員、中村委員、中田(敏)委員、螺良委員、菱沼委員、伊藤委員、糸委員、中田(功)委員、大牧委員、田嶋委員、篠原委員、湯澤委員、瀬尾委員、添田委員、今井(キ)委員、小林委員、小川委員、久松委員、速水委員

【事務局】

(保健福祉部) 河原部長、栗田部次長、中村部次長、

(保健福祉総務課) 鈴木課長、松澤課長補佐、福富企画調整係長

(健康課) 斎藤課長、福田課長補佐、栗原企画係長、高橋母子保健係長、松岡成人保健係長

(保健所) 縄保健予防課長、小林精神保健難病係長

(教育委員会) 山市教育次長(学校担当)、福田学校保健体育係副主幹

次 第	担 当	発 言 内 容
1 開 会	保健福祉総務課 課長補佐	<ul style="list-style-type: none"> ・ 定刻でございますので、ただいまから「平成14年度第2回宇都宮市保健衛生審議会」を開会いたします。 ・ 会議に先立ちまして、委員の辞職に伴い、新たに委員になられた方のご紹介をいたします。 宇都宮市市議会議員を代表されまして 今井 恭男(いまい やすお)委員です。 中山 慶恵子(なかやま けいこ)委員です。 小島 延介(こじま のぶすけ)委員です。 ・ それでは、会議に先立ちまして、会長にごあいさつを、いただきたいと思います。
2 会長あいさつ	会 長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 会議に先立ちまして、一言あいさつさせていただきます。本日は委員の皆様にはお忙しい中、ご出席いただきありがとうございます。昨年から審議をいただきました「(仮称)健康うつのみや21プラン」ですが、今回の議題であります「ライフステージに応じた目標と取り組み」についてと「健康づくりを支援するための推進体制」についての審議をもちまして最終の審議となります。皆様ご承知のとおり、この計画はすべての市民の総合的な健康づくりの指針であります、このため、委員の皆様には、是非活発なご審議をお願いするとともに、事務局側も充分

<p>3 副会長の選出</p>	<p>保健福祉総務課 課長補佐</p> <p>会 長</p> <p>保健福祉総務課長</p> <p>会 長</p> <p>菱沼委員</p> <p>会 長</p> <p>会 長</p>	<p>準備を進めてきたことと思いますので、議事が円滑に進められるよう御協力をお願い申し上げ、簡単ではございますが、挨拶とさせていただきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ それでは、早速議事に移っていただきますが、これ以降の進行は、会長をお願いします。 ・ 前回の審議会まで副会長をつとめられました石井万吉（いしいまんきち）委員より辞職届が提出され、現在、副会長職が不在になっております。従いまして、先ず、「副会長の選出について」を議題としたいと思います。事務局の説明をお願いします。 ・ 資料 1 宇都宮市保健衛生審議会規則の 1 ページをご覧ください。保健衛生審議会規則第 2 条第 4 項の規定により、副会長は、委員の互選となっておりますので、副会長の選出につきましては、委員のみなさまからご選出いただきますようお願いいたします。 ・ 分かりました。それでは、どなたかご推薦いただけますか。 ・ はい 会長。 行政全般だけでなく、福祉や環境の分野にも幅広い知識をお持ちで、現在、市議会の厚生常任委員会でご活躍されている市議会議員の今井（いまい）委員が適任であると考えますので、ご推薦します。 ・ ただいま菱沼（ひしぬま）委員より副会長には、今井（いまい）委員を、とのご推薦がございましたが、みなさまいかがでしょうか。 <p style="text-align: center;">- 委員から「異議なし」との発声 -</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ それでは、副会長には、今井恭男（いまいやすお）委員にご就任をお願いするということで決定いたします。 <p style="text-align: center;">- 今井委員、副会長席へ移動 -</p>
-----------------	---	---

<p>3 議 事</p> <p>【審 議】仮称健康うつのみや21プランについて</p> <p>・ライフステージに応じた目標取り組みについて</p> <p>・健康づくりを支援するための推進体制について</p>	<p>会 長</p> <p>健康課長</p> <p>会 長</p> <p>田嶋委員</p> <p>保健福祉部長</p> <p>会 長</p> <p>田嶋委員</p> <p>会 長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ それでは、議事に入ります。 ・ 本日は、各論の最後の2項目「ライフステージに応じた目標と取り組みについて」・「健康づくりを支援するための推進体制」について審議を行います。 ・ それでは、先ず、「ライフステージに応じた目標と取り組みについて」事務局の説明をお願いします。 <p style="text-align: center;">- 資料2に基づき説明 -</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ただいま、事務局より説明がありましたが、何かご質疑ご意見等はございますか。 ・ ところどころにコラムを挿入し、読みやすくしてくれたのはわかりました。1～3ページまでの乳幼児期について何かありますか。家庭内外での事故防止について特徴的なものをいれたとあるが、乳幼児の事故の原因で一番多いのはたばこといわれています。 ・ 宇都宮市の場合は共稼ぎが多い。保育所の時間帯はどのようになっているのですか。 ・ 保育園は市内に60園程度あります。保育時間は午前7時～午後7時まで。通常はお昼と3時のおやつのお食事支援を行っています。 ・ 保育時間をもっと増やせということですか。 ・ 朝は問題ないが、夜は早すぎるのではないかと？もっと遅くできないのですか。 ・ 保育の延長ということか。先日の社会福祉審議会の席上でも述べたが、いま一番重要な課題は、若い人たちがいかに安心して子どもを育てていくことのできる環境にもっていかということ。そのためには夜間保育、24時間保育等は若い女性が子育てをしながら働くためには必要です。現実的には、保育士はたくさんいるが、就職したくてもなかなかできない人がたく
---	---	--

		<p>さんいる。安心して子どもを生めるようにすることが必要です。そうでないとこれからの世の中下支えをする人がいなくなってしまう。また、社会福祉審議会のデータでは、平成17年度の目標値が2ヵ所になっていたが、市としてあまり取り組んでいないように見えます。田嶋委員のご提言はそのとおりである。乳幼児期に一番大切なことです。</p>
	久松委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 健診についてだが、今年度合理化になり、地区市民センター等の地域では行わず、個別の病院での健診になった。病院はきちんと健診についての知識を持っているのか。母親の中で不安になっている人も多いと思います。
	健康課長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市でも病院によって健診の内容がばらばらにならないようにするため、健診の内容について病院の医師にきちんと確認して、必要があれば研修を受けてもらう等で対応しています。心配はありません。
	会 長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 医師会としては、小児科の先生にお願いしています。希望者のみで実施しています。専門家のみが行っており、全ての医師が行っているわけではないです。
	中田（功）委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分のところには乳児院があるが、虐待の問題があります。家庭の中での乳幼児にいららを与えないような家庭環境が重要です。スキンシップをとるという項目にも引っかかるもののだとは思いますが、こどもの情緒安定について「休養・こころの健康」に加えてはどうでしょうか。
	健康課長	<ul style="list-style-type: none"> ・ この計画では生活習慣病を基本に組み立てをしてきたが、ライフステージ分けて、乳幼児については重点9分野で触れていなかった事故防止についても取り上げました。虐待の問題についても大きい問題であるので取り入れる方向で検討していきます。
	会 長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「小学校期」について何かありますか。
	中村委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 性について中学校期等でとりあげているが、小学校のうちにとりあげるべきです。中学校では遅すぎます。

会長		<ul style="list-style-type: none"> ・ 性についての教育は中学校から実施しているが、生理等については小学校から始まるため、取り組んでいかなければならないと思います。
教育次長		<ul style="list-style-type: none"> ・ このライフステージの小学校期には入っていないが、実際は小学校では保健の時間に年3，4時間性についての指導を行っています。低学年から特別活動等の時間に「清潔な体」というようなテーマについて段階を踏んだ指導を行っています。小学校期にこのようなことを取り入れていきたいと思います。
会長		<ul style="list-style-type: none"> ・ 小学校期に性についてとりあげていただきたい。 ・ 続いて「中学・高校後期」について何かあります。
中田（功）委員		<ul style="list-style-type: none"> ・ 8頁の「ピアカウンセリング」という言葉はわからないのではないのでしょうか。一般の人が読んで何のことかわからないと思います。
健康課長		<ul style="list-style-type: none"> ・ ピアカウンセラーによる性についての健康教育の手法のひとつです。平成12年度から実施しています。「ピアカウンセリング」については欄外で語句の説明をしたいと思います。
会長		<ul style="list-style-type: none"> ・ それなりの説明をいれたほうがいいと思います。
会長		<ul style="list-style-type: none"> ・ 青年期について何か提言，質問はありませんか。
田嶋委員		<ul style="list-style-type: none"> ・ 先日の下野新聞にもでていたが、栃木県の10代の人工中絶が全国でもワースト2だということですが、これについての対応方策は何かやっていますか。
健康課長		<ul style="list-style-type: none"> ・ 県内の10代の人工中絶はワースト2位，またはワースト8位です。これは統計のとりかたにもよります。思春期の生徒に対して学校の中でも教育を行っており，その他にも保護者を対象にした健康教育及び要請のあった学校への健康教育を行っています。
会長		<ul style="list-style-type: none"> ・ 昨年，依頼を受けて医師会の性教育委員会で中学校2校を選んで性教育を実施しており，今年は全校実施する予定です。

	教育次長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今年度から市内全中学校 21 校に専門の医師を招いて性感染症，避妊に関する正しい知識を子どもたちに学ばせるための性教育を行っています。来年度の拡大にむけて現在検討を行っています。
	会 長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 拡大ということは小学校にも拡大するのですか。本県の 10 代の人工中絶が多いというのは統計によるものであり，本市が特别多いということではありません。中学生に対する性教育，避妊教育を行う必要があります。
	中田（功）委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ こだわっているわけではないが，10 頁の健康目標の「禁煙節煙を実践し，適度な飲酒をこころがける」というのはどうなのでしょう。「禁煙を実践し」でいいのではないのでしょうか。なぜ節煙を入れるのでしょうか。また，「節度ある程度な飲酒をこころがける」というのは飲酒を奨励しているようなニュアンスがあります。多量飲酒とか飲酒を止めるというような表現のほうがいいのではないのでしょうか。目標というのははっきりさせたほうがいいと思います。
	健康課長	<ul style="list-style-type: none"> ・ たばこの問題については，禁煙だけではなく節煙もするということで入れました。飲酒については検討の結果このような形にまとめさせてもらいました。ご理解いただきたいと思います。
	会 長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 青年期の生活習慣病の予防は大切です。自分の年齢では難しいと思います。 ・ 宇都宮市でチョコレートとビスケットが全国 1 位というのは本当ですか。アイスクリーム，シャーベットが全国 2 位というのは何の統計ですか。チョコレートの消費量は外国と比較して 6 分の 1 程度です。
	糸委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大根が 1 位というのは何ですか。
	小川委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 消費量のことです。
	会 長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 壮年期について何かありますか。

小川委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 60 歳ぐらいの定年退職時に死に至るケースが多い。定年退職時の人が次のステージに進む際にどのような取り組みをすればいいか提案してほしいと思います。
会 長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 提案してほしいということですが，小川委員の考えはどうなのですか。
小川委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 例えば，定年時の次の人生に進んでいく時に，次のステージに飛躍していくようなプランを入れ込んでほしいと思います。
健康課長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 壮年期の中に入れるような方向で検討していきたいと思えます。
会 長	<ul style="list-style-type: none"> ・ ライフステージを 6 区分にわけるのでなくて，壮年期と熟年期の間に定年の生活についていれるということですか。
健康課長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 次の熟年期を迎える前の段階である壮年期の中でふれさせていたきたい。
会 長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 何らかの形で反映させてほしいと思います。
小島委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全般的なことだが，子どもたちの健康について専業主婦，共働き等の家庭にしか目を向けていません。子どもの面倒を祖父母がみているということも多いため，祖父母の問題にも目を向けるべきです。 ・ また，残存農薬の問題についても食べる側，使う側についての位置付けを加えてほしいと思います。
会 長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保健所はどう考えますか。
保健所長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保健所においても定期的な検査を行っています。この後，担当の健康課とも検討させてほしいと思います。
健康課長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保護者という観点から書いたつもりだが，表現については検討させてほしいと思います。

	中山委員	<ul style="list-style-type: none"> この計画の冊子は誰に配布するのですか。計画の中に「ピアカウンセリング」等の横文字が多出しています。国会でも問題になっています。文化庁文化課から指令がでており、実際に英語で話されているものであれば問題ないが、そうでなければ使うべきではないというものです。横文字を使う場合には留意してほしいと思います。
	健康課長	<ul style="list-style-type: none"> この計画は最終的には報告書になるが、重要な部分を抜粋して市民の方々にPRしていきたいと思います。その際には今のようなことについても十分配慮したいと思います。
	会 長	<ul style="list-style-type: none"> 横文字の取り扱いについては留意してほしいと思います。
	今井(キ)委員	<ul style="list-style-type: none"> 壮年期において、更年期障害について関心が高くなっています。更年期障害についての項をおこしてほしいと思います。
	健康課長	<ul style="list-style-type: none"> 今までの討議の中では載せてきませんでした。検討させていただきたい。
	会 長	<ul style="list-style-type: none"> 女性にとっては大切な問題です。今後考えていくということによろしいでしょうか。
		<ul style="list-style-type: none"> 意見も出尽くしたようなので、次の健康づくりを支援するための推進体制について審議します。説明をお願いします。
	会 長	<ul style="list-style-type: none"> 推進体制について何か提言・質問はありませんか。
	小川委員	<ul style="list-style-type: none"> 健康づくりを推進するために運動を推進していくというのがあるが、運動するための市の施設は限られており、勤務後に運動するということは不可能です。民間の運動施設、プール、テニス場等がたくさんあるが、例えばそのような施設に市が補助金を出す等できないでしょうか。市が新たな施設を作るのではなく、そのような施設を利用することができればいいと考えていますがいかがでしょうか。 また、健康づくり推進委員というものがあるが、健康づくり推進員養成地区10地区とはどのような人を指しているのですか。

<p>会 長</p> <p>小川委員</p> <p>健康課長</p> <p>会 長</p> <p>健康課長</p> <p>会 長</p> <p>健康課長</p> <p>中山委員</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・ 2 頁の一番後ろに市が関連施設を整備するとあるが補助金を出すことも含めてどう考えるのですか。 ・ 市が民間施設に補助金を出すというのは市民が利用しやすい方法を考えてほしいということです。 ・ 健康づくりについていろいろなやり方があるが、一番お金がかからない体をきたえるためのウォーキングというものもあります。市が民間施設を利用する人に対して補助を出すということは難しいです。実際にお金がかからない方法で健康づくりを行ってほしいと思います。今回の計画は市の各種の事業の基礎になるものを作っている段階であるので、今後はこれらの事業を具体化するために健康づくりの方法を検討していきます。了解いただきたい。 ・ 健康づくり推進員の養成状況については、現在、ボランティアでご協力いただいているものに2つの種類があります。1つは食生活改善推進員という保健所行政の長い歴史のある組織ですが、これはボランティアというかたちで食生活改善を行っています。2つ目は健康推進ボランティアです。これらの方々を合わせて10地区ということです。 ・ 10地区でどのぐらいいるのですか。 ・ 300人弱です。 ・ その人たちがこの計画を皆理解して活動しているのですか。 ・ このような方々を、これからより一層このような形で組織化していきたいと思います。 ・ 今後のことを考えていくと、どの程度の人たちを取り組んでいくのですか。職域にも働き掛けていくという話もしているが、最終的には地域が行うべきです。また、活動についても若い人が取り組んでいくべきです。もっと若い人がやらないとだめでだと思えます。もっと行政が推進員そのもののあり様を提示すべきです。
--	--	--

<p>< 提言書について ></p>	<p>会 長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 推進員の質の問題ですか。その300人の年齢構成は平均でどのようになっているのですか。
	<p>健康課</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 食生活改善推進員については50代を中心に150名です。 ・ 若い世代30代後半。70歳もいます。平均すると50,60歳です。健康づくり推進員については定年退職後に活動する人が約3分の1です。若い人は50代から60代。自分たちが地域の健康づくりを推進していくという意識です。将来に向けてはご提言の内容を踏まえて健康づくり推進員を育成してきます。
	<p>田嶋委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ PRを兼ねてお話するが、シルバー人材センターには1,000名程度登録しています。これは働いて健康を保つという意味があります。80代には表彰状を出しているが、皆さん60歳代にしか見えません。 ・ また、八幡山に2箇所スピーカーのついたウォーキング場所があります。仏舍利等、中央公園他たくさんのそのような場所があます。時間にもとらわれず、お金もかからず皆好きなように歩いています。それらの場所で朝4時から6時まで歩いているのです。このような現状を理解してほしいと思います。
	<p>会 長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 50代がいれば10年はもつということですか。 ・ これらの意見を踏まえて計画を策定していくということでしょうか。意義がないようなので2番の審議事項についてはこれで終わらせていただきたい。
<p>会 長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ これまで4回審議してきたが、これまでの意見を踏まえて計画を策定してほしいと思います。これに関して計画策定に関する提言書を提出したいと思います。提言書の内容についてはお手元に配布してあるが、この骨子に基づいて提言書を作成し、各委員に郵送するが、その後、ご覧いただいて指摘事項、ご意見等があれば事務局にご連絡いただきたい。最終稿については会長、副会長に一任していただきたい。 	

4 その他	<計画の名称について>	会 長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現在，計画の名称については「仮称」がついているが，この計画の正式名称がどのようになるのか事務局から説明していただきたい。
		健康課長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 名称についてはこれまで他都市状況について調査したが，その事例まとめたものをお手元に配布しています。同じような種類ものをまとめてあります。例えばいわき市，堺市等があります。現在は，仮称がついているが，仮称をとった形で使わせてほしいと考えています。「健康うつのみや21プラン」とあるが，「プラン」はとったものにしたいと考えています。
		会 長	<ul style="list-style-type: none"> ・ また，他都市の事例では副題をつけているのが一般的です。下に参考意見としていくつかあるが，このような意見を参考にしながら内部でまとめさせていただきたい。
		会 長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 名称については「健康うつのみや21」で，副題については市に検討してもらおうということによろしいでしょうか。事務局に一任します。
		保健福祉部長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大変長い間ありがとうございました。また，4月からオープンした24時間救急医療体制についてはご提言をいただいております。3ヶ月間の実績があったので，データとして委員の皆様にお配りします。当初，1日平均10名程度と考えていたが，平均15名程度の利用者がありました。一次診療と二次診療の役割分担が明確になっています。北部，東部地域の利用が多く見受けられました。 <p style="text-align: center;">24時間救急医療体制についての質問はなし</p>
		会 長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 質問は何かありますか。
	条委員		<ul style="list-style-type: none"> ・ 栄養士会を代表してきているが，現在，食品の薬害が問題になっています。グレープフルーツ等全国的にも病院の献立からなくなっている食品もあります。食品の薬害について取り上げる必要性があるのかないのかお聞きしたい。
	会 長		<ul style="list-style-type: none"> ・ 行政としては何か意見がありますか。

健康課長		<ul style="list-style-type: none"> ・ 新たな課題であるので、あらためて検討して必要があれば組み込んでいきます。
会 長		<ul style="list-style-type: none"> ・ 確かに最近問題になってきています。急な話であり、すぐには答えられないので、委員から直接事務局と話をさせていただきたい。
螺良委員		<ul style="list-style-type: none"> ・ 中核市等でいろいろな取り組みをやっているが、宇都宮市はこのようなところが違うというものを計画に盛り込んでいただきたい。
会 長		<ul style="list-style-type: none"> ・ そのことについては、提言骨子の一番下の部分にあるはずです。
健康課長		<ul style="list-style-type: none"> ・ 提言骨子の一番下の部分に早急に取り組むべき対策として、9分野の中でも特に重要な課題としてこの計画の特徴であるたばこ糖尿病を取り上げています。
会 長		<ul style="list-style-type: none"> ・ たばこについては、先日、教育委員会で校内禁煙にするという取り組みについても新聞に出ました。また、糖尿病についても自分が病気だということを自覚する必要があるものです。そのようなところを重点化していくということで提言に取り入れました。それが他県、他市との違いです。これでよろしいでしょうか。
会 長		<ul style="list-style-type: none"> ・ 時間も押してきたようですが、事務局から何かありますか。
健康課長		<ul style="list-style-type: none"> ・ この後、現在、母子保健に関する計画を今年から来年にかけて策定するため準備を進めているが、委員の皆様にはご審議いただくことになるのでよろしくお願いしたいと思います。
会 長		<ul style="list-style-type: none"> ・ 母子保健計画策定については別に審議会のようなものを設置するのですか。
健康課長		<ul style="list-style-type: none"> ・ 「健康うつのみや21」と同じように内部に検討したものを委員の皆様にご審議いただきたいと思います。
会 長		<ul style="list-style-type: none"> ・ その中で10代の性の問題についてもでてくるでしょう。何か質問等がなければこれで審議を終了します。ご協力ありがとうございました。

5 閉 会	湯沢委員	<ul style="list-style-type: none"> 文芸春秋の中で慶応大学の近藤誠先生は「健診は人生を不幸にする」といっています。健康診断には基準値があり、これを上げたり下げたりするため、完璧に健康ということはありえません。このことについて委員の皆さんの意見をお聞きしたい。
	柳川委員	<ul style="list-style-type: none"> 健康診断については様々な意見があります。現在の健康診断は早期発見，早期治療を目的に行っています。その際にどのような目的でどのようにやっていくのが重要です。健康診断は重要な意味があります。
	中村委員	<ul style="list-style-type: none"> 難しい問題であるが，健康診断を受けるか受けないかは自分の判断で決めればいいと思います。健康診断を活用して健康づくりを行うものです。強制的に行っているものではありません。健康診断の意義を理解する人が受ければよいと思います。
	中田委員	<ul style="list-style-type: none"> 近藤誠は後輩です。問題の切り口はいいのだが。健康診断は扱い方により異なります。予防的な意味で受けるのであれば意義があります。きめ細かい配慮があるかないかで異なるが，効果はあります。
	会 長	<ul style="list-style-type: none"> 時間も押してきたため，これで審議を終了したいが，最後に副会長に一言お願いします。
	今井議員	<ul style="list-style-type: none"> 大変ご苦労様でした。会長ともども一生懸命頑張りますのでよろしくお願いします。本日はご苦労様でございました。
	保健福祉総務課長補佐	<ul style="list-style-type: none"> 長時間にわたり熱心にご審議いただきありがとうございました。以上をもって平成14年第2回宇都宮市保健衛生審議会を閉会させていただきます。ありがとうございました。